

サイレ（知識を） ヴォロ（得たい）

scire voloの会

2026

2017年から2024年の8年間、真生会館「学び合いの会」分科会は、教会刷新を目指すフランシスコ教皇の思想を学びながら、改めて「神の民としての教会」のあり方を考えてきました。2025年から会の名称を *scire volo*（ラテン語：「私は知りたい」）と新たにしました。2026年も、成熟した信仰者として現代社会に生きる姿勢を、引き続き模索していきます。

3月から11月までの奇数月第3土曜日に ZOOM を使って当会をオンラインで開催します。2013年の教皇フランシスコ就任によって教会全体が第2バチカン公会議以来の大きな節目を経験しています。2025年4月、教皇フランシスコは帰天され、教皇職はレオ14世、初の米国人教皇に引き継がれました。教会刷新は続きます。

2026年テーマ：“one reality”という言葉に込めた前教皇の思いを探る

フランシスコ教皇は2024年10月、回勅 *Dilexit nos*（He has loved us）を発行した。その冒頭には、“a personal centre, in which love, in the end, is the one reality that can unify all the others”：「ペルソナの中心には愛がある。即ち、全ての他者を一つにできる one reality をその究極とする愛がある」という言葉がある。その一ヶ月前、インドネシア等訪問した際の教皇ミサ説教の第七段落では、“ultimately, life always brings us back to one reality: *without love we are nothing*.”：「究極、生命は『愛がなければ私達は nothing』という one reality に私達を常に引き戻す」とも述べている。2022年7月の『カナダ先住民への謝罪』第三段落では、エフェソスへの手紙 2:14-22 を参照して“Jesus reconciles by bringing together, by making two distant groups one: one reality, one soul, one people.”：「イエスは人々を集めて和解させる。二つに隔たったグループを一つにし、one reality, one soul, one people にする。」とも述べている。

2026年も去年に続き、“one reality”という言葉に込めたフランシスコ教皇の思いを探る。

■ 場 所： ZOOM 利用のオンライン開催になります。

■ 日 程： 2026年3月～11月の奇数月第3土曜日

3/21 5/16 7/18 9/19 11/21 （全5回）

■ 時 間： 午後1時30分～3時30分

■ 参加費： 無料

■ 問合せ・参加申込先： 齋藤 旬 Mail: jun.j.saito@gmail.com jun.j.saito@hotmail.com

オンライン初参加の方は事前にお問い合わせ下さい。